

# 平成24年度施策の 実施予定(案)について

平成24年3月22日  
広島湾再生推進会議



1

目標1：森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。

## 水環境の再生

新規

### 海田湾における石炭灰造粒物を用いた底質改善実験（中国地方整備局） モニタリング結果のとりまとめ及び手引き書作成

・平成24年度は、海田湾での石炭灰造粒物現地実証実験のモニタリングを実施し、これまでのモニタリング結果を取りまとめる。また、他海域での事例も参考にしながら、汎用的な手引き書を作成する予定。

#### ◆平成24年度の取り組み内容

##### モニタリング調査の継続

- モニタリングを継続し、効果の継続期間等、長期的な調査を要する内容を評価する。
- 水質シミュレーションモデルの高度化に向けて必要な項目については新たに実施を検討する。

##### 他海域の事例の収集

- 他海域等で実施されている同様の海域環境改善手法の施工結果やモニタリング結果を収集し、より汎用的な手法へのブラッシュアップを行う。

##### 実用化の検討

- 実用化に向けて、手引きに必要な項目とその内容、留意点等を整理し、マニュアル化を進めていく。
- 各項目のマニュアル化にあたっては、他の海域の事例も含めてより汎用的な手法となる様留意する。

#### 広島湾の3つのアピールエリア



広島湾再生プロジェクトで設定された3つのアピールエリアの一つ海田湾にて実施。

設計(適地選定・施工範囲や規模等)から施工、評価までの一連の手順をとりまとめた手引き書の作成

#### 手引き書の項目(案)

- 1) 石炭灰造粒物の特徴と適用性
- 2) 施工前の現況調査時の調査項目と評価方法
- 3) 施工箇所・範囲の検討
- 4) 施工工法と施工時の留意点
- 5) 施工後のモニタリング項目と評価方法、留意点

2

目標1：森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。

生物生息・生産の場の保全・再生

新規

太田川水系太田川における干潟再生実験の実施(中国地方整備局)  
太田川放水路河川干潟における生態工学研究とりまとめ

・平成24年度は、引き続き太田川放水路で造成した干潟再生試験区におけるモニタリングを実施するとともに、各専門分野の干潟再生に関する研究成果と河川干潟造成にあたっての留意点をとりまとめる予定。

◆平成24年度の取り組み内容

**干潟造成による効果・影響の評価**  
 ・各専門分野による干潟環境のレスポンスの評価  
 ・各専門分野の関連性を踏まえた干潟環境全体の総合的な評価

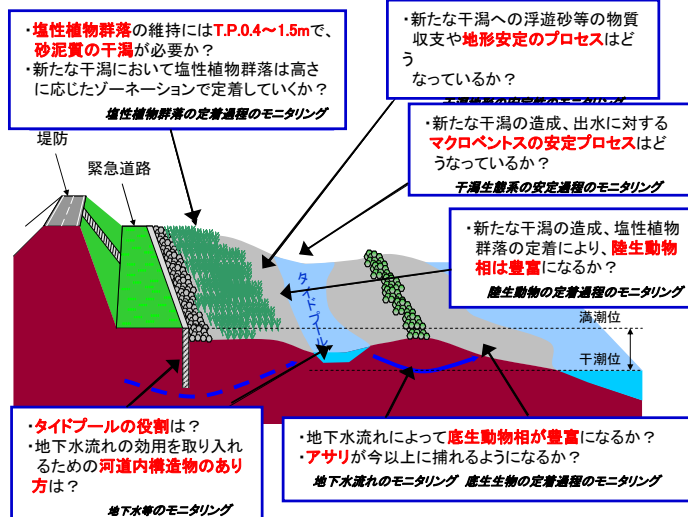
太田川放水路河川干潟における生態工学研究とりまとめ

・各専門分野の干潟再生に関する研究成果  
 ・各専門分野の観点からの河川干潟造成にあたっての留意点  
 ・今後の研究課題

研究成果を河川管理へ反映

より良い干潟環境の  
保全・再生

他河川の河川干潟  
への展開



干潟再生試験で明らかにしたい事項

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

新規

水の都ひろしまづくりの推進(中国地方整備局、広島県、広島市)  
京橋川左岸側での独立店舗型オープンカフェの新規展開

・平成24年度は京橋川左岸側での独立店舗型オープンカフェの新規展開に伴う、ウッドデッキ等共用空間の実施設計を行う。



京橋川右岸側の  
既設独立店舗型オープンカフェ



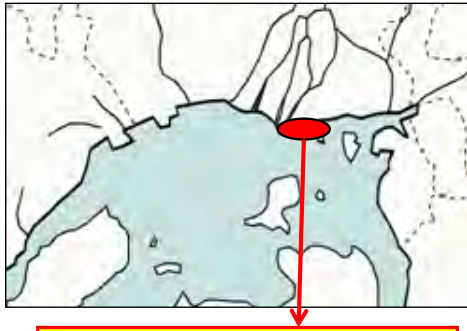
京橋川左岸側での独立店舗型オープンカフェの新規展開  
(平成24年度～)

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

新規

広島港宇品・出島地区賑わい創出事業（広島県）



広島港宇品地区、出島地区

【広島港宇品・出島地区賑わい創出事業】

- ・海に憩える賑わいと潤いのある空間を形成するため、広島港宇品・出島地区の整備により地域の魅力を向上させる。
- ・平成24年度は、御幸松地区周辺のウォーターフロントのプロムナードおよび案内施設の整備を予定。

■利便施設・親水プロムナード等(イメージ)



整備前



整備後



目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出（眺望点の整備・修復）

新規

（仮称）第2音戸大橋音戸側広場の利活用による眺望点の整備（広島県、呉市）

- ・音戸の瀬戸エリアは、第2音戸大橋の開通や飲食・温浴施設の整備、平清盛（大河ドラマ）ゆかりの地として今後ポテンシャルの上昇が見込まれる。
- 広場の整備により、①眺望を活かした観光資源、②音戸の瀬戸周辺観光の情報発信地、③音戸大橋・第2音戸大橋の歴史的・技術的情報発信、④呉～倉橋・江田島間の広域にわたる観光の情報発信 の場として利活用していく予定。



利活用計画地

江田島

宇品

工場群

工場群(夜景)

第2音戸大橋

音戸大橋

南側

整備箇所

第2音戸大橋

音戸大橋

見渡せば双子橋が望める

平成24年度の実施予定

【呉市事業】  
駐車場、トイレ、ベンチ等の設置

【県事業】  
道路工事と呉市事業の一部を受託

（仮称）第2音戸大橋音戸側広場利活用 計画地および広場からの眺望

自然景観、歴史・文化的資源を活用した保全

新規

「平清盛」観光キャンペーン  
～観光地「ひろしまブランド」構築推進事業（広島県）～



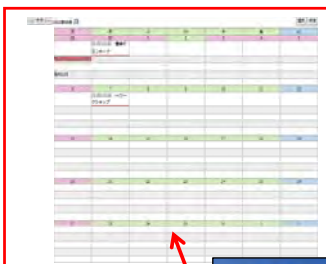
「きよもりブルーライン」パンフレット

- ・平清盛ゆかりの地である音戸町と宮島町の「ドラマ館」を繋ぐ高速船（きよもりブルーライン）を運航させることにより、美しい瀬戸内海の風景のPRと観光客の利便性、誘致に貢献。
- ・平成24年度は引き続き、①「きよもりブルーライン」運航に対する助成、②マスメディアやイベントを活用した情報発信、③旅行会社向け説明会やモニターツアーによる旅行商品開発の支援など、「平清盛」観光キャンペーンを展開中。

自然景観、歴史・文化的資源を活用した保全

新規

広島湾再生ホームページの充実（中国地方整備局）



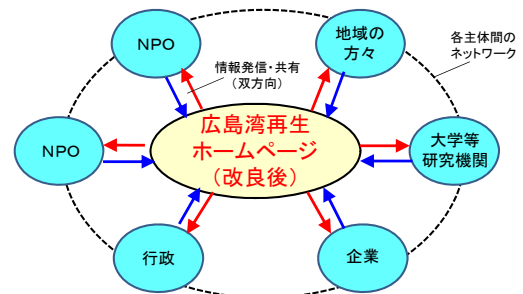
カレンダーと連動した  
イベント情報などの投稿・提供

市民・NPOなどの活動  
報告ページの充実



市民参加型コン  
テンツの充実  
(写真投稿など)

ホームページの新機能の例



ホームページによる情報発信・情報共有のイメージ

- ・市民やNPO、企業などが積極的に活用できるよう、広島湾再生ホームページの改良・充実を図る。

- ①市民参加型コンテンツの充実
- ②市民やNPO等が、気軽に情報の投稿と入手ができるような、わかりやすい機能の設定
- ③各主体（行政、市民・NPO、企業）のニーズ・シーズなどの情報交換・共有ができる機能の設定 など

各機関が取得した広島湾の水質データ等の活用（モニタリング・環境教育分科会）  
～日本海洋データセンターへの登録による保存性と利便性の向上～

任意の期間、調査項目、調査機関  
の水質データ等を検索・ダウンロード可能

・平成24年度は、各機関がそれぞれ取得した広島湾の水質データ等の保存性と利便性の向上を図るため、**日本海洋データセンターへの登録について各機関と調整を実施予定。**

日本海洋データセンター  
ホームページ

※日本海洋データセンターは、我が国の海洋調査機関によって得られた重要かつ有用な海洋データを一元的に収集管理し、一般のユーザーに提供する我が国の総合的な海洋データバンクとしての役割をはたしている。